

(款) 55教育費 (項) 15中学校費 (目) 10教育振興費

◎教育振興の経費

特別支援教育事業	【	教育総務課	】
----------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

学校教育:子どもたちの豊かな人間性や生きる力をはぐくめる教育が実現しているまち

【事業の目的】

対象 市立中学校の特別支援学級に通う生徒

意図 安定した特別支援学級の運営を支援するため。

効果 質の高い特別支援学級の運営を図る。

【事業の内容】

(1) 特別支援教育事業

- ・特別支援学級運営を円滑に進めるため、授業、行事などの学校生活に必要な物品、役務の調達や管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,520	1,520	1,474		46

主な支出内訳

・特別支援教育事業

教材用消耗品費

1,316

事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 教総-08 特別支援教育事業(中学校) ■支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	155 中学校特別支援教育事業							
主管課	教育総務課	関連課	教育指導課・各市立中学校						
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	特別支援教育の助成を行い、教育内容の充実を図る								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	対 象 者	37人	28人	27人					
運営資源 状 況	決算値	1,474千円	1,454千円	1,431千円					
	(国・県)	0千円	0千円	0千円					
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円					
	(一般財源)	1,474千円	1,454千円	1,431千円					
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.2人					
	人 件 費	1,874千円	1,918千円	1,889千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	3,348千円	3,372千円	3,320千円					
	市民1人当 りの経費	19円	19円	19円					
	対象者1人 当りの経費	90,486円	120,429円	122,963円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※			
							※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(23年度)		
学校経理担当者会議(予算 執行に係る連絡調整)	◎	目標値	4	4	4	4	4	4	
		実績値	4	4					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	相模原市	三浦市	
公立学校数(校)	15	4	9	11	2	3	30	4	
公立生徒数(人)	76	37	84	63	41	8	231	18	
公立学級数	29	10	20	22	6	6	62	9	
団体名	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	
公立学校数(校)	9	11	8	4	6	6	4	5	
公立生徒数(人)	68	56	70	41	32	37	12	35	
公立学級数	19	23	19	12	13	11	6	10	

事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・学校備品が老朽化しており、計画的な改善が必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・限られた予算の範囲内で優先順位をつけ、効率的な更新や予算執行に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・特段なし
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・学級運営実態をさらに見極め、効率的な予算配分に努める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	限られた予算額の範囲内で効率的な予算執行に努め、より安定した特別支援教育の学級運営を支援したい。			
担当課長氏名:	教育総務課長 小嶋 秀一郎			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	予算額の範囲が限られていることについては、今後も各学校の理解を得ながら、充実した特別支援教育の学級運営を支援したい。			
担当部名	教育総務部	部長名	宮田 茂昭	